

モニタリング結果報告書

施設 津久井やまゆり園
 指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会
 施設所管課 神奈川県保健福祉局障害福祉サービス課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
10月	11月8日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
11月	12月8日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
12月	1月13日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
1月	2月9日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
2月	3月10日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
3月	4月8日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

<提案内容の概要>

- 1 強度行動障害対策生活支援事業の実施
- 2 生活支援の充実と強化
- 3 地域生活移行支援の推進
- 4 医療的ケア支援事業の実施
- 5 障害者地域余暇活動支援事業の実施
- 6 地域交流等支援事業の実施
- 7 地域防災ネットワーク推進事業の実施
- 8 拠点施設機能育成事業の実施

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<実施状況>

- 1 在宅で生活する強度行動障害児者支援の充実を図るため、ケースワーカーと担当職員が津久井養護学校や近隣の特別支援級を訪問し、相談やケース等の情報交換を実施した。
- 2 利用者の生活支援の充実と強化を図るため、担当職員、日中支援課職員、心理職員が定期的にカンファレンス等を実施し、利用者が落ち着いて生活できるよう支援体制の見直しに取組んだ。
- 3 地域生活移行支援を推進するため、平成23年度中に設立予定の第3・第4ケアホームについて、建築主・土地の選考等を行った。
- 4 地域の作業所等を訪問し、有資格者の看護師等による救命講習研修「すこやかサービス」を13回実施した。
- 5 地域で生活する在宅障害児者を対象とした「ワクワクサークル」を7回実施した。また、当園近隣に居住する障害児者及びその家族等に創作活動を楽しんでいただくため「わいわい創作活動」を1回実施した。
- 6 「地域コンサート」を4回開催し、外部からも地元千木良小学校生徒・近隣住民等が参加し交流を深めた。また、地元千木良小学校と交流を図るため、地区清掃「交流美化デー」を4回実施した。
- 7 相模原市及び地元自治会と防災に係る協力体制について協議した。園では事業の一環として防災資機材と防災用飲料水を購入した。
- 8 認知障害や適応障害の為の支援方法、及び自立支援法について近隣施設・地域作業所等に対して研修会「寺子屋」を6回実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	1,339,732	604,471	703,720	31,541	1,298,448	41,284
上半期計 (a)	672,091	299,641	363,257 (360,731)	9,193	573,498	98,593
下半期計 (b)	668,058	304,830	338,215 (358,458)	25,013	698,845	△30,787
10月	98,325	40,742	53,563 (64,322)	4,020	60,916	37,409
11月	102,911	40,742	58,374 (57,590)	3,795	69,566	33,345
12月	161,123	101,125	55,821 (57,693)	4,177	149,339	11,784
1月	99,717	40,742	55,540 (57,307)	3,435	132,975	△33,258
2月	97,736	40,742	53,649 (57,171)	3,345	83,729	14,007
3月	108,246	40,737	61,268 (64,375)	6,241	202,320	△94,074
合計 (a+b)	1,340,149	604,471	701,472 (719,189)	34,206	1,272,343	67,806

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

・利用料金については、法人の自主事業として寸沢嵐地区生活介護事業所を設置したことから、指定管理施設で実施する生活介護利用者が移行し、結果的に指定管理施設としては利用者が減少し減額となった。

・収支差額については、自立支援給付費収入が2ヶ月遅れで入金されることから、次年度当初の運転資金として活用する。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	車両（バン1台）	2,942
	車両（マイクロバス1台）	5,779
	ガス乾燥機（3台）	5,229
積立等の状況		(期首) 69,000
		(期末) 69,000

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	827 人	871 人	△5.1%
下半期計 (b)	836 人	824 人	1.5%
10 月	139 人	140 人	△0.7%
11 月	141 人	137 人	2.9%
12 月	139 人	136 人	2.2%
1 月	139 人	136 人	2.2%
2 月	138 人	136 人	1.5%
3 月	140 人	139 人	0.7%
合計 (a+b)	1,663 人	1,695 人	△1.9%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

- ・ 施設に入所している利用者数は前年度と比較して、前年度8月にケアホームを設置し、施設から地域生活に移行した利用者があることから、特に上半期計の前年対比増減率が下がった。
- ・ 生活介護利用者は、外部に寸沢嵐地区生活介護事業所を設置したことから若干減少した。
- ・ 短期入所の利用者数は増加した。延べ人数4,427人、前年対比増減率は121.3%であった。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10 月						
11 月		1				1
12 月		1				1
1 月	2					2
2 月						
3 月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者から評価されたもの、苦情や要望のうち対応しづらいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

特になし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
2月14日	2/9 インフルエンザによる発熱と SP02 の低下のため、湘南厚木病院に緊急搬送され入院する。インフルエンザの治療と貧血の輸血を行っていたが、2/14 入院先にて敗血症性ショックにて死去される。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

平成22年度下半期についてはモニタリングの実施は無かった。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護に係る研修会を開催し、職員の人権擁護に対する意識の向上を図り、利用者中心の支援、人権擁護に配慮した支援を徹底した。また、複数の職員配置と作業内容の見直しを行い、効率的で安全な支援体制の構築に努めた。 地域サービス事業については、地域で生活する在宅障害児者等に対して、積極的にサービスの提供に取り組むことができた。今後も地域との連携強化を図りながら、更なる事業の充実を努めたい。 今期は、利用者生活環境向上のための設備改修等について、計画的に取り組むことができた。今後も利用者の皆様に安心して生活していただくため、計画的に生活環境整備を進めたい。
施設所管課	<p>人権に配慮した支援を実践し、きめ細かい支援を行っている。また地域とのよりよい関係を築き、余暇外出の支援や、相談活動など、在宅障害児者の生活を支えている点は非常に評価できる。</p> <p>障害が重い利用者の生活に危険のないよう、ハード面でもソフト面でも創意工夫をしており、今後とも利用者支援向上に尽力してほしい。</p>